EPSON

ESA3ADF2
取扱説明書

このたびはオートドキュメントフィーダ［ESA3ADF2］をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
製品をお使いになる前に、まず本書をお読みください。

● **内容物の確認 2**
● **ADF の取り扱い方 3**
原稿のセット方向 3
ADF 使用時のアプリケーションについて 4
ADF 使用時の取り込み手順 5
● **ES-6000H での取り扱い 9**
ES-6000H への取り付け方 9
使用できる用紙とセット方法 16
原稿が詰まった時は 18
● **原稿カバー回収のご案内 ..... 巻末**

スキャナ本体への取り付け方法については、下記をご覧ください。
・ES-6000Hをお使いの場合　：本書
・他のスキャナをお使いの場合：スキャナに付属の取扱説明書

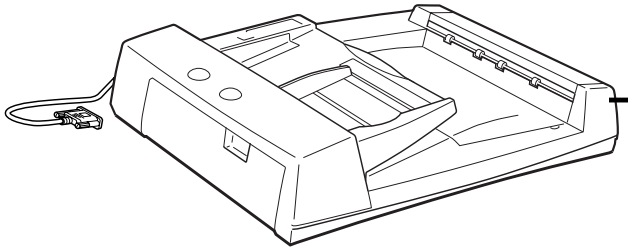
© セイコーエプソン株式会社　2000

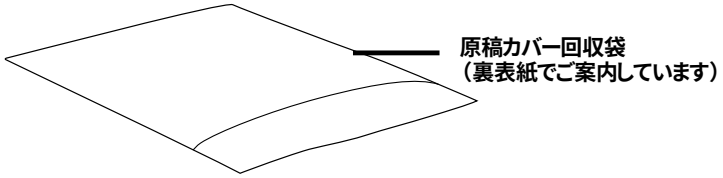
Printed in Japan　00.XX-XX

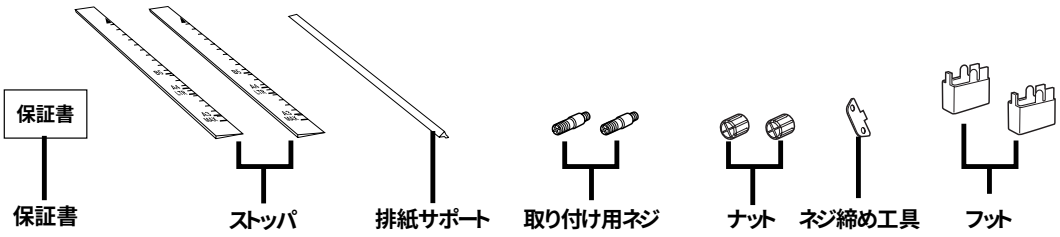
4012357-00
XXX

内容物の確認

内容物がすべてそろっていることと、内容物に損傷がないことを確認してください。万一、不足や不良がございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。







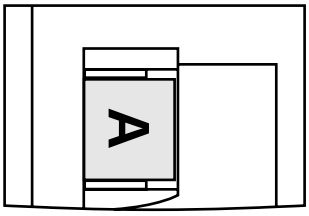
ADF の取り扱い方

ここでは、ADFの使用方法を説明しています。ADFを使用する際は、必ずお読みください。

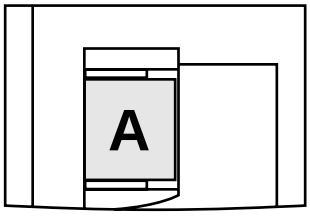
原稿のセット方向

ADF へは、縦長原稿・横長原稿どちらの場合も、次の向きでセットしてください。

＜推奨①＞
原稿の下側を ADF 挿入口に向けてセット



＜推奨②＞
原稿の左側を ADF 挿入口に向けてセット



- どちらの場合も、取り込む面を上に向けてセットしてください。
- 両面原稿の場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- 1 番上の原稿から給紙されます。

ADF 使用時のアプリケーションについて

文書ファイリングに適したTWAIN対応アプリケーションをお持ちでない場合で、スキャナ本体に［PageManager］が付属している場合は、PageManagerを使用して取り込むと便利です。

ポイント

特に両面原稿を取り込む場合は、PageManagerを使用すると便利です。

PageManagerの特長その１：両面原稿裏面の回転機能

両面原稿の場合、原稿をセットする向きによっては、表面と裏面が異なる向き（180°回転などの状態）で取り込まれます。

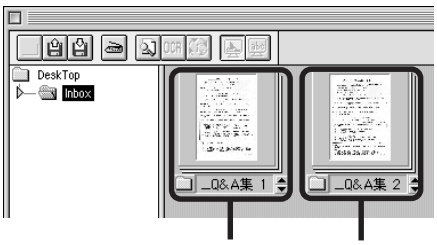
PageManagerでは、表面（奇数ページ）または裏面（偶数ページ）の向きを一括して回転することができます。画像を1つ1つ回転処理する必要がないので便利です。

取り込み後に表示される回転処理画面

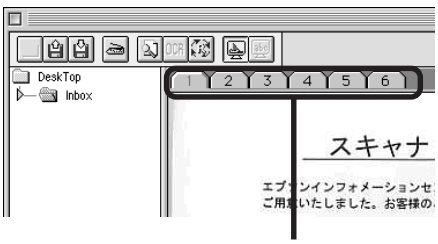
PageManagerの特長その２：大量文書の取り込み・管理が容易

PageManagerでは、取り込んだ画像が自動的に保存され、データベース化されます。そのため、ADFを使用して大量の文書を取り込む場合に、画像を１つ１つ保存する必要がありません。

また、複数枚連続で取り込んだ場合、連続して取り込んだページが1つのまとまりとして登録されます。例えば文書を電子ファイル化する場合、文書の種類や期間ごとに分けて連続取り込みすると、種類や期間を分けての管理が容易に行えます。



連続取り込みごとのまとまり



まとまりを開いた様子。タブをクリックして表示するページを切り替えます。

ADF 使用時の取り込み手順

ADFを使用して取り込む場合、原稿台にセットした原稿を取り込む場合とは手順が若干異なります。以降では、PageManagerで取り込む場合を例に、取り込み手順を説明します。

この説明を読む前に、スキャナに付属の取扱説明書を参照して基本的な取り込み方を習得しておいてください。

原稿の全領域を連続して取り込む場合

原稿の全領域を取り込む場合は、プレビューする必要はありません（原稿サイズを自動検知し、原稿の全領域を取り込みます）。次の手順に従ってください。

1 原稿をすべてセットします。
推奨①または推奨②の向きでセットしてください。（3 ページ参照）

2 PageManagerを起動し、PageManagerから TWAINドライバを起動します。

3 TWAINドライバで、イメージタイプ・解像度などを設定します。
詳しくは、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

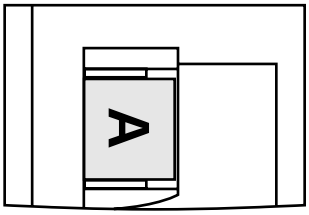
4 取り込み ボタンをクリックして取り込みます。
ADF にセットしてある原稿すべてを、連続して取り込みます。

5 閉じる ボタンをクリックして TWAINドライバを閉じます。

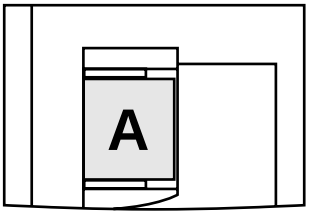
6 PageManagerで、回転の処理画面が表示されます。サムネイル（小画面）を見ながら、回転処理を行います（次ページ参照）。

回転処理は、セットした原稿の向き・取り込み面によって異なります。

＜推奨①＞
原稿の下側を ADF 挿入口に向けてセット

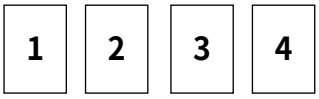
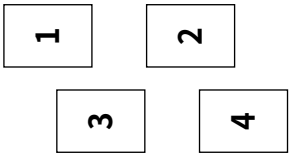


＜推奨②＞
原稿の左側を ADF 挿入口に向けてセット



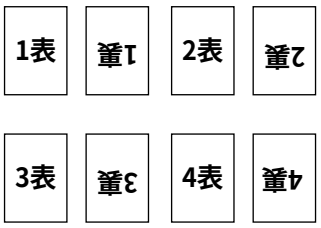
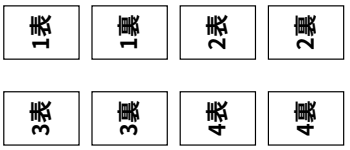
片面取り込みの場合

＜原稿を 4 枚セットした場合の例＞

	推奨①	推奨②
画像の向き		
PageManager の処理	なし（OK ボタンをクリック）	1. ［イメージの選択］項目で「すべて」を選択（選択された画像の縁が赤くなります） 2. ［イメージの回転］項目で「右に 90°」を選択 3. OK ボタンをクリック （最初に戻す ボタンをクリックすると、回転前の状態に戻ります）

両面取り込みの場合

＜原稿を 4 枚セットした場合の例＞

	推奨①	推奨②
画像の向き		
PageManager の処理	1. ［イメージの選択］項目で「偶数のページ」を選択（選択された画像の縁が赤くなります） 2. ［イメージの回転］項目で「180˚」を選択 3. OK ボタンをクリック （最初に戻す ボタンをクリックすると、回転前の状態に戻ります）	1. ［イメージの選択］項目で「すべて」を選択（選択された画像の縁が赤くなります） 2. ［イメージの回転］項目で「右に 90˚」を選択 3. OK ボタンをクリック （最初に戻す ボタンをクリックすると、回転前の状態に戻ります）

原稿の一部分を連続して取り込む場合

たとえば伝票の一部分を連続して取り込みたい場合は、次の手順に従ってください。

1 原稿をセットします。
推奨①または推奨②の向きでセットしてください。（3 ページ参照）

2 PageManagerを起動し、PageManager から TWAINドライバを起動します。

3 TWAINドライバで、プレビュー ボタンをクリックして画像をプレビューします。
1 番上の原稿が給紙され、プレビューが終了すると排紙されます。この時、上から 2 番目の原稿も給排紙されます。

4 TWAINドライバで、イメージタイプ・解像度・取り込み枠などを設定します。

> **取り込み枠は、1 つだけ設定してください。**
> **ADF からの取り込みでは、複数枠の取り込みはできません。**

5 排紙された 1 枚目と 2 枚目の原稿を順番通りまとめ直し、原稿をすべてセットします。
プレビュー時と同じ向きでセットしてください。

6 TWAINドライバで、取り込み ボタンをクリックして画像を取り込みます。
ADF にセットしてある原稿すべてを、連続して取り込みます。

この後は、［原稿の全領域を連続して取り込む場合］の手順 5 と同じです。5 ページをご覧ください。

ES-6000H での取り扱い

ここでは、次のことを説明しています。
- ESA3ADF2をES-6000Hに取り付ける手順
- 使用できる用紙とセット方法
- 原稿が詰まった時の対処方法

他のスキャナをお使いの場合は手順が少し異なりますので、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

ES-6000H への取り付け方

⚠注意

ADFは重く(約15kg)、取り付け前は不安定ですので、取り付け作業は必ず2人以上で行ってください。1人で行うと、落下によりけがをしたり、ADFが破損するおそれがあります。

1 **スキャナの電源をオフにし、ケーブル類をすべて取り外します。**

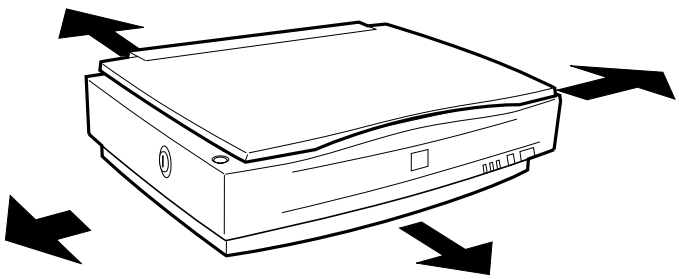
2 **スキャナの周囲に人が作業できるスペースを確保します。また、できるだけ低い位置に置きます。**

ADF は、スキャナの背面側から取り付けますので、背面側に、ADF を取り付けるための作業スペースを確保してください。

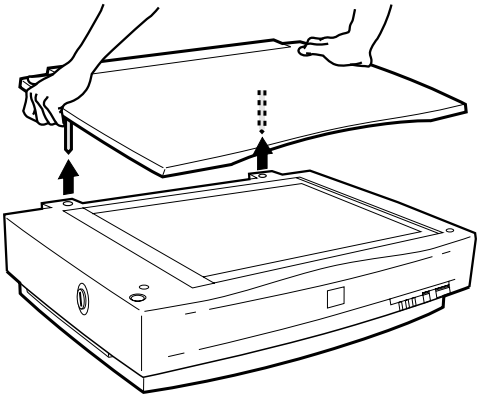
⚠注意

ADF を取り付ける時は、作業を容易にするため、腰よりも低い安定した位置にスキャナを置き、落下によるけがやADFの破損が起きないように注意して作業してください。

人が作業できるスペース

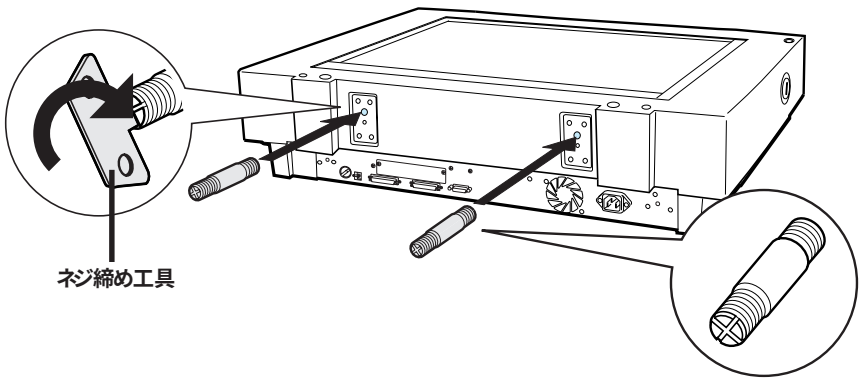


3 スキャナの原稿カバーを取り外します。



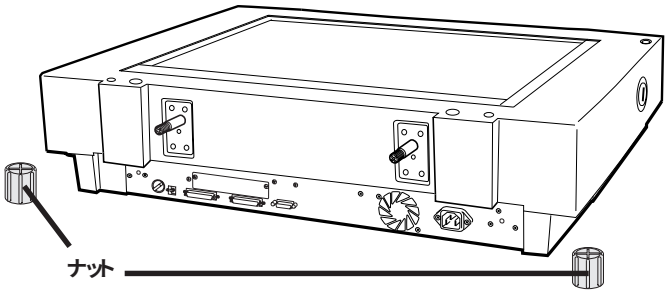
4 ADF に付属のネジを、スキャナ背面に取り付けます。

手で締められるところまで締めてから、ADF に付属のネジ締め工具を使って固く締めます。

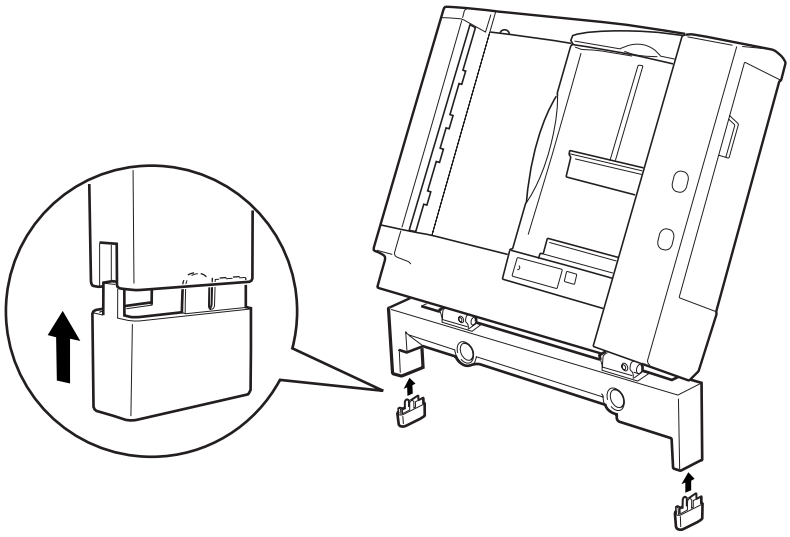


5 ADFに付属のナットを、スキャナの近く(背面側)に置きます。

このナットは、ADFの固定に使用するものです。ADFを取り付ける前に、スキャナ背面側に置いておきます。

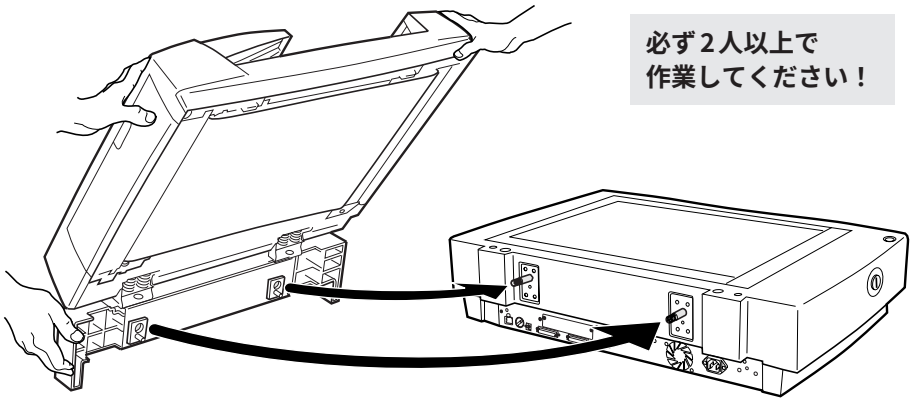


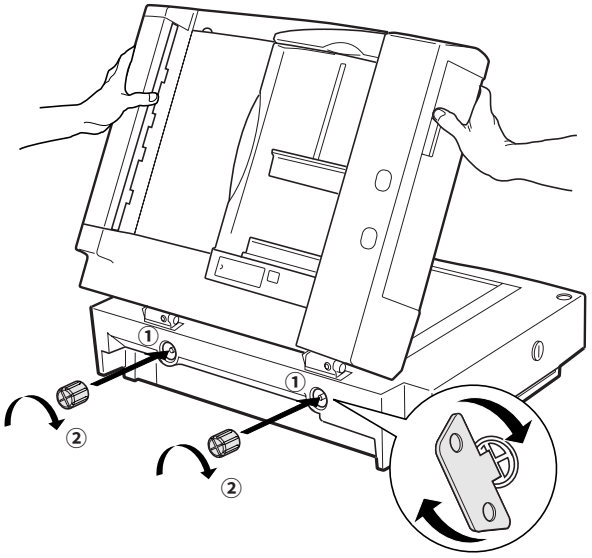
6 ADFに付属のフットを、図のようにADFに取り付けます。



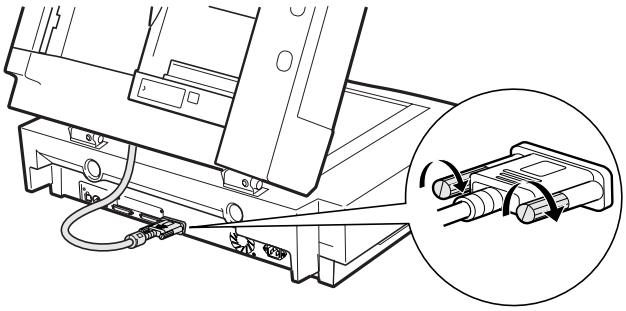
7 ADFを2人以上で持ち上げます。スキャナ背面に取り付けたネジにADFの取り付け穴を差し込み、ナットで固定します。

手で締められるところまで締めてから、ADFに付属のネジ締め工具を使って固く締めます。



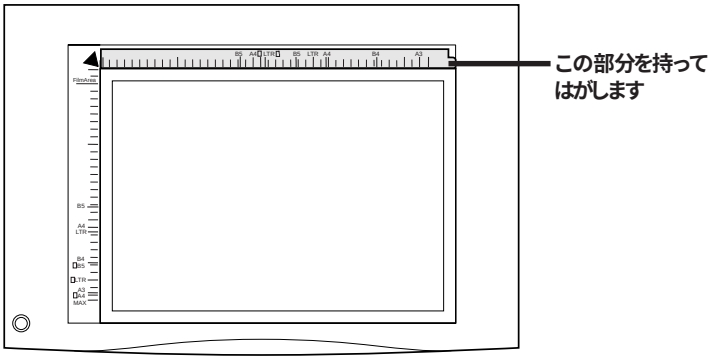


8 スキャナ背面のオプションコネクタにADFのコネクタを取り付け、コネクタ両脇のネジで固定します。



9 スキャナに、スキャナ付属のスケールストッパを貼り付けてある場合は、スケールストッパをはがします。

スケールストッパの粘着部分には、スキャナ購入時にスケールストッパに貼られていた剥離紙を貼り付けて保管してください。



注 意

必ず、スケールストッパをはがしておいてください。ADF使用時にスケールストッパが貼り付けられていると、原稿に傷が付くおそれがあります。

10 ADFに付属のストッパ(灰色)と排紙サポートを、スキャナ本体に貼り付けます。

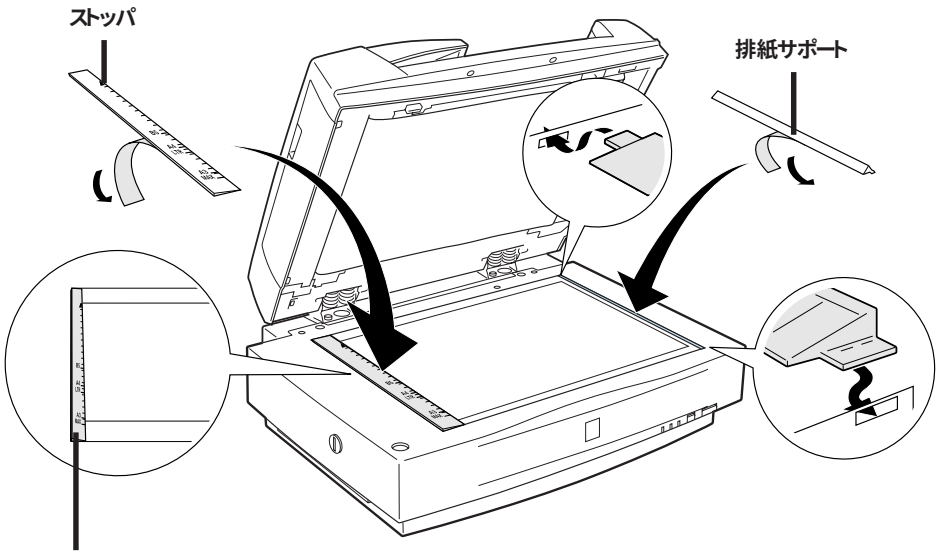
裏側の剥離紙をはがし、図の位置に貼り付けます。

注 意

ADFに付属のストッパと排紙サポートは、原稿の停止および排紙に必要不可欠な部品ですので、必ず貼り付けてください。貼り付けないと、ADFが正常に動作しません。また、原稿が詰まったり、折れたりすることがあります。

注 意

ストッパは2種類(灰色と白色)同梱されています。灰色のストッパを貼り付けてください。



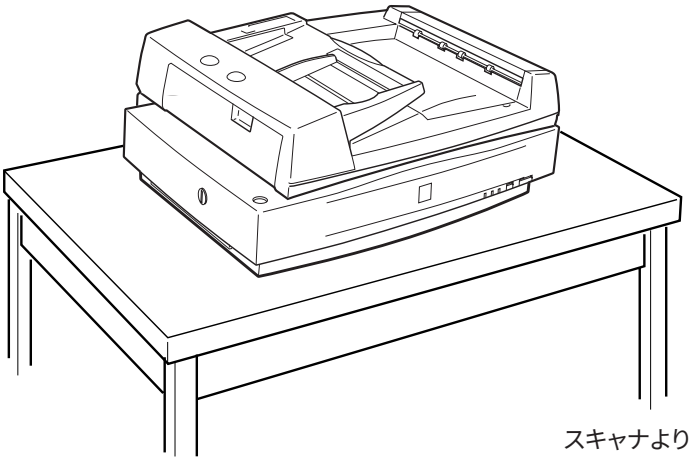
11 ADFを閉じます。ADFとスキャナとが、ガタなく、しっかりと固定されているか確認します。

ガタがある場合は、ナットを増し締めしてしっかりと固定します。

12 スキャナを 2 人以上で持ち上げ、設置する場所に置きます。

⚠注意

- **ADF を取り付けた状態では、総重量は約 34kg になります。必ず、2 人以上で運んでください。**
- **必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。また、ADF を取り付けた状態のスキャナより大きな台に設置してください。**
- **ADF を開ける時は、ゆっくり開けてください。勢いよく開けると、反動でスキャナが動く(設置位置がズレる)場合があります。**

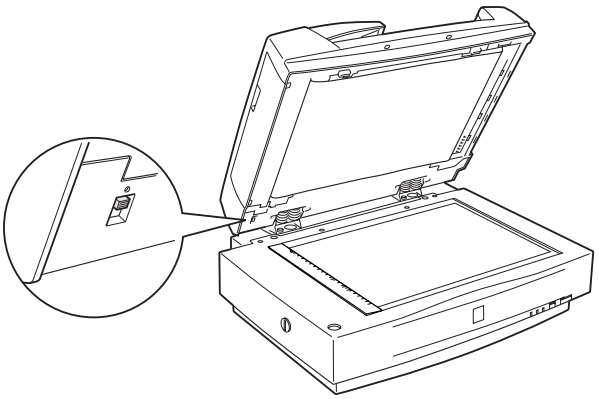


スキャナより大きな台に
設置してください。

13 取り外したケーブル類を接続します。

これで ADF の取り付けは終了です。

ADF の底面にあるスイッチは、図の位置のままにしておいてください。



使用できる用紙とセット方法

ADF にセットできる用紙は次の通りです。
写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

セット可能サイズ **※違うサイズの用紙を混載しないこと**	**A3、Ledger（約 280 ×約 432mm）、B4、Legal（216 × 356mm）、A4、Letter（216 × 279mm）、B5、A5、A6＊、官製ハガキ＊** **不定形紙　幅　148 ～ 297mm** **長さ　100 ～ 432mm** **＊ 横長にセットしてください。なお、このサイズは自動検知できませんので、A5 横サイズで取り込まれます。**
セット可能枚数	**100 枚（80g/m²）** **※エッジガイドの目盛りを越えてセットしないこと**
排紙枚数	**100 枚**
紙種	**上質紙、中質紙、インクジェット紙（ファイン紙、スーパーファイン紙相当）、ボンド紙（ストラスモア、ギルバート）**
紙厚（原稿坪量）	**50 ～ 127g/m²**

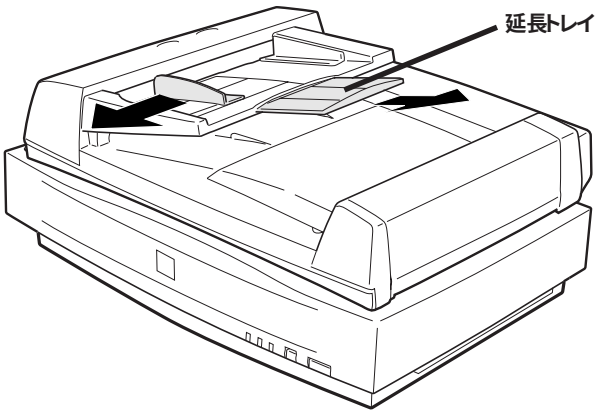
注 意

次の用紙は、ADF では使用しないでください。給紙不良や、ADF の故障などの原因になります。
- **折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙**
  （原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- **糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙**
- **形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙**
- **貼り合わせ（切り貼り）、ラベル紙（裏面糊付）、ルーズリーフの多穴原稿**
- **綴じのある用紙（製本物）**
- **薄すぎる用紙、厚すぎる用紙**
- **透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙**

※カタログ類は、正常に給紙されない場合があります。

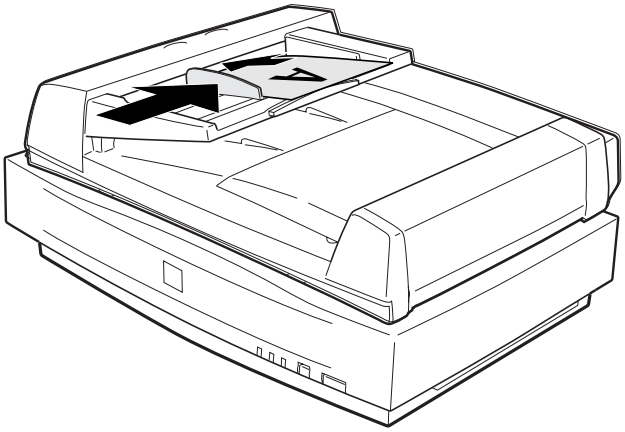
1 ADFのエッジガイドを、セットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。

B4 以上の原稿をセットする時は、延長トレイを引き出します。



2 原稿の取り込む面を上にして、ADFの目盛りに合わせて奥に突き当たるまで差し込みます。

両面原稿の場合は、表面を上に向けて差し込みます。原稿を差し込んだら、エッジガイドを原稿にぴったりと当てます。

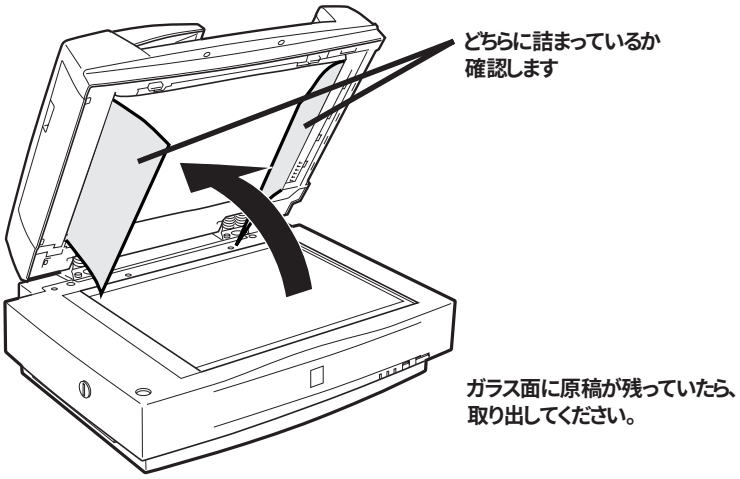


以上で原稿のセットは終了です。

原稿が詰まった時は

ADF で原稿が詰まった時は、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

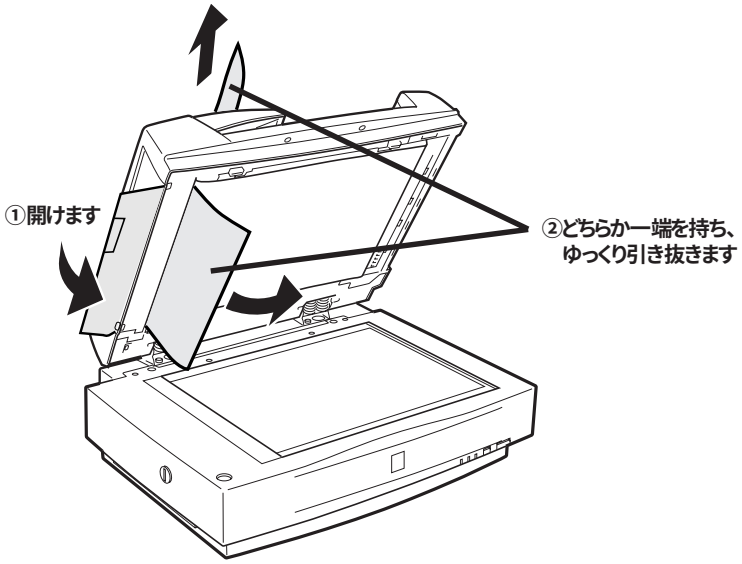
1 ADF を開け、原稿が詰まっている場所を確認します。



2 詰まっている原稿を取り除きます。

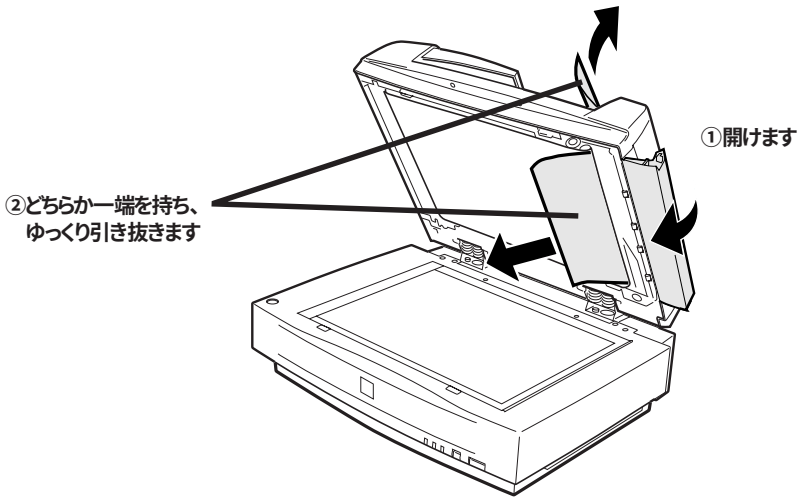
■給紙口で詰まった場合

①図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。②原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。



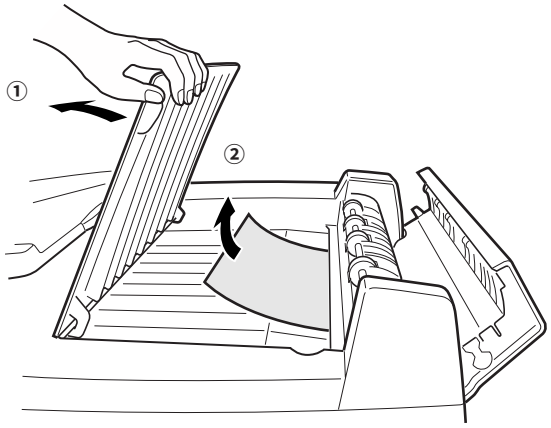
■排紙口で詰まった場合

①図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。②原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。



■原稿が破れてしまった時は

原稿が破れて取り出せなくなった場合は、① ADF 上面のカバー開け、②原稿をゆっくり引き抜いてください。



原稿を取り出したら、ADF 上面および側面のカバーを閉じておいてください。

3 **原稿を取り除いたら、ADF のカバーを閉じてから、ADF 本体を閉じてスキャナ前面の リセット ボタンを押してください。**

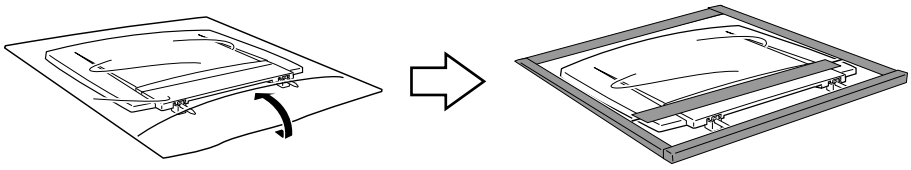
ポイント

仕様外の用紙は正しく給紙できません。用紙が仕様に合っているか確認してください（16 ページ参照）。

原稿カバー回収のご案内

ADFの取り付け後、原稿カバーが不要になった方は、同梱の回収袋に入れて送付してください。

回収袋に原稿カバーを入れ、袋の口を閉じてガムテープ等でとめてください。さらに、袋が破れないように、袋のエッジ4辺をガムテープ等で補強してください。



着払い伝票にて下記宛に送付してください。 輸送業者は問いません。

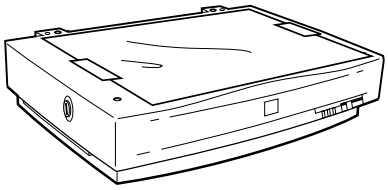
送り先　長野県松本市大字神林 1563 番地
エプソンサービス(株)　原稿カバー回収係
TEL 0263 － 86 － 7660

なお、製品の修理に関するお問い合わせは、スキャナに付属の取扱説明書の裏表紙に記載されているエプソンの修理窓口までお願いいたします。

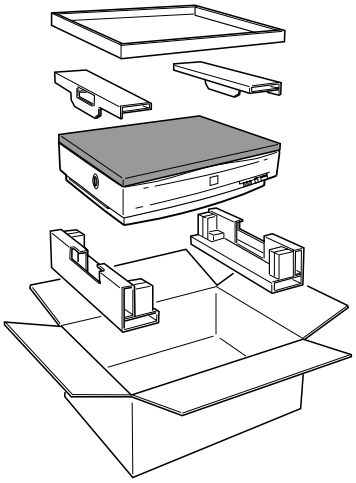
原稿カバー送付後の本体輸送時のご注意

原稿カバー送付後、スキャナ本体を修理等で輸送する時は、次の手順で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

1　スキャナのガラス全面をビニールで覆ってテープでとめ、ガラス面を保護してください。



2　製品に添付の梱包材を使って梱包してください。 この時、スキャナの上に段ボールを乗せるなどして、取り外した原稿カバーの隙間（高さ約 3cm）を埋めてください。



※スキャナや梱包材の形状は、機種によって異なります。